

日本建築学会
第 35 回情報・システム・利用・技術シンポジウム

企画シンポジウム
「スマートタウン・スマートシティの展望」
ー地域の成り立ちを踏まえ、ICT を活用した新しい街づくりと都市開発ー

情報通信技術（ICT）を活用した新たな街づくりと都市開発に際しては、各地域における課題の解決に加え、東日本大震災からの復旧・復興にも大きな期待が寄せられている。特に、平時の ICT の活用と災害時における防災・減災機能の連携、エネルギー利用の見える化とマネジメント、社会インフラとしての ICT 基盤の整備などを、各地域の成り立ちを踏まえて上で実現することが必要である。そこで、スマートな ICT、スマートな街づくり、スマートハウスに関してご活躍をされている第一人者をパネリストに迎え、スマートタウンとスマートシティを展望する。

日時：12月13日（木）14：00～17：30

会場：建築会館ホール

1. 基調講演

- (1) 「ICT を活用した新たな街づくり ～スマートなサイバー世界と実世界の融合をめざして～」徳田英幸（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授）
- (2) 「ストリートスマートな建築と都市」宇野求（建築家、東京理科大学工学部第一部建築学科教授）
- (3) 「柏の葉スマートシティプロジェクト」河合淳也（三井不動産柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長）
- (4) 「生活者目線からのスマートハウス像」吉田博之（大和ハウス工業総合技術研究所）

（休憩）

2. 討論

パネリスト：徳田英幸（前出）、宇野求（前出）、河合淳也（前出）、吉田博之（前出）
モデレータ：倉田成人（鹿島建設技術研究所）

3. まとめ

加賀有津子（大阪大学教授、日本建築学会情報システム技術委員会委員長）

司会：倉田成人（前出）



徳田英幸

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授

<講演タイトル>

ICT を活用した新たな街づくり

～スマートなサイバー世界と実世界の融合をめざして～

<略歴>

1975年慶應義塾大学工学部卒。同大学院工学研究科修士。ウォータールー大学計算機科学科博士 (Ph.D. in Computer Science)。1983年米国カーネギーメロン大学計算機科学科に勤務、研究准教授を経て、1990年より、慶應義塾大学環境情報学部勤務。慶應義塾常任理事を経て、現職。主に、オペレーティングシステム、分散システム、ユビキタスコンピューティングシステムに関する研究に従事。現在、日本学術会議連携会員、情報通信審議会委員、情報処理学会フェロー、日本ソフトウェア学会フェロー、ネットワークロボットフォーラム会長、モバイル社会研究所理事などを務める。研究教育業績に関して Motorola Foundation Award, IBM Faculty Award, 経済産業大臣賞, 総務大臣賞などを受賞



宇野 求 (うの もとむ)
建築家／東京理科大学教授

<講演タイトル>

ストリートスマートな建築と都市

<略歴>

1954 東京生まれ

1978 東京大学工学部建築学科卒業

1984 東京大学大学院博士課程修了、工学博士

生産技術研究所で計算機幾何学の応用研究。院生時代、友人と建築設計事務所を設立。以来、建築・都市の設計、研究、教育活動に従事。日本建築学会作品選奨、グッドデザイン賞、American Wood Design Award ほか。千葉大、東洋大、鹿児島大、早大、広島大、近畿大、熊本大、慶応大、名古屋大、東大、京大、北大ほかで講師歴任。311以来、東日本大震災復興支援活動。

主な設計として、四谷テンポラリーオフィス、幕張新都心住宅地M2-2街区、豊橋駅東口駅前広場、VILLA FUJII ほか。主な著書として、「新工学知 vol.2, 3」(東大出版会)、「海辺の環境学」(東大出版会)、「東京計画2001」(鹿島出版会)、「再読：日本のモダンアーキテクチャー」(共著；彰国社)、「テクノスケープ」(SD特集号) (編；鹿島出版会) ほか。主な研究として、東京湾隣海部における都市住居の研究(共同)、超超高層のフィージビリティスタディ II (共同)、SAS Project for analyzing the future possibilities of the high-density living in the Tokyo Megalopolis : Motomu Uno, Manabu Hatsumi, Yuji Yoshimura、Light City Tokyo - Redefining Sustainability through the Light Life, Motomu Uno and others.



河合 淳也（かわい じゅんや） 三井不動産（株）

<講演タイトル>

柏の葉スマートシティプロジェクト

<略歴>

- 1959年 4月 千葉県生まれ
- 1983年 3月 東京大学 工学部 都市工学科卒
- 4月 三井不動産（株）入社
- 1987年 4月 都市開発事業部 事業課（分譲マンション事業担当）
- 1990年 4月 千葉支店（1992年～幕張ベイタウン街づくり担当）
- 2000年 4月 住宅事業本部 都市開発第一事業部 事業課長（汐留ツインパークス担当）
- 2002年 4月 三井不動産販売（株）出向
- 2004年 4月 開発企画部 環境創造グループ長
- 2006年 10月 柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部 事業グループ長
- 2011年 4月 柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長



大和ハウス工業(株)総合技術研究所
フロンティア技術研究センター 地球温暖化防止研究 G
ICT研究 T 吉田 博之

<講演タイトル>

生活者目線からのスマートハウス像

<略歴>

1988年熊本大学工学部生産機械工学科卒業。同年大和ハウス工業（株）入社。四国工場にてファクトリーオートメーションのライン導入管理業務を経て本社デザイン室に転属、住宅商品開発業務に従事。1994年総合技術研究所設立後、スマートハウスの研究に着手。2000年にはホームオートメーションとインターネット技術を組み合わせたスマートハウスの建設や、携帯電話で留守宅をモニタリングする「留守モニ」やトイレの中で健康管理が行える「インテリジェンストイレ」の商品開発を担当。

2009年、経済産業省の「スマートハウス実証プロジェクト」の公募を受託。ECHONET等の国内外の標準規格を採用し、異なるメーカーの家電・設備機器が制御できる共通ソフトウェアを開発、関連した委員会等を通じた普及促進活動に参加。平成21年度スマートハウス整備WG、アプリケーション／サービスSWG主査、平成22年度スマートハウス情報活用基盤整備フォーラム（eSHIPS）住宅API普及SWG主査を担当。